



平成 18 年 3 月 3 日

各 位

マルマン株式会社
(ヘラクレス コード番号 7834)
問合せ先：経営管理部
TEL：03-3272-9402

本日掲載の日本経済新聞の記事について

本日の日経新聞朝刊に「追跡ニューフェイス」の見出しで、弊社記事が掲載されておりますが、投資家並びに関係各位の方々に対し、記事文中に一部誤解を生じさせる記載がございました。そのため、記事内容に関する弊社の現状並びに今後の戦略について以下ご説明申し上げます。

1. 当社の成長性について

文中に、「ゴルフ人口の減少という逆風が吹くだけに、目先の成長率が鈍ることに市場は厳しい視線を送る」との記載がありますが、当社の既存のメインターゲットは団塊の世代であるシニア層であり、今後大きな市場拡大が見込まれます。また、ボリュームゾーンであるミドル層は当社がこれまで注力してこなかったセグメントであり、今後は新技術を駆使した新製品の積極的な投入により当社のシェア拡大が期待出来る市場です。因みに本日発売開始の「エクシム ナノ エクストラ インパクト」は、2008 年ルール適合ながら、ナノテクの「ニューバランスシャフト」を搭載し高反発ヘッドクラブを超える飛びを可能にしております。この「エクシムナノ エクストラ インパクト」は発売前の試打会では最大級の好評を得ております。更に国内だけでなく、昨年設立の国際事業部では、従来のアジア地域を中心とした海外市場に加えアメリカ大陸、中国などへも積極的に拡大、進出しております。韓国での合併企業であるマルマンコリアではメルセデスベンツとのタイアップキャンペーンにより、順調な拡大を遂げております。このように当社のゴルフ事業は国内のゴルフ人口動向に大きく左右されることの無いような戦略を採っており、国内ゴルフ人口の減少により当社の成長が鈍化するということは無いと考えております。当社は禁煙パイポに代表される「健康産業」を事業ドメインと捉え、ゴルフ事業だけでなく、健康食品事業を第二の柱として育成しております。健康食品事業は、関西以西への商圈拡大や無店舗販売への新規参入により順調に推移しており、また今日よりヘルスケア事業部を 100%子会社であるマルマンバイオ㈱として分社化し、更なる競争力強化並びにシェア拡大を図って参ります。

このように当社は、安定収益源であるゴルフ事業と現在 2 兆円以上といわれ、今後
も大きく成長する市場である健康食品事業という、安定性と成長性を両立させた企
業価値の増大が可能な事業ポートフォリオを構築しております。

06 年 9 月期の連結経常利益については記事文中にある通り、前期単独比 10.1%増の
1,390 百万円を計画しております。この計画の必達は勿論のこと、これ以上の成果
を挙げるべく全社一丸となって業務に取り組んでおります。

尚、06 年 9 月期第 1 四半期の実績は、2 月 9 日に開示致しました。同四半期の売上
高は予算対比 111%の 2,145 百万円、経常利益は予算対比 104%の 169 百万円と堅調
に推移しております。当社は第 2 四半期以降に予算を重点配分しており、春から秋
にかけて更なる収益積み上げにより成長を加速して参ります。

2. 親会社 T・ZONE ホールディングスの当社株式に対する投資方針について

本日時点で当社株式を 67.05%保有する親会社 T・ZONE ホールディングスからは、「当
社株式に対しては、当面は連結対象として長期保有する方針であり、売却する場合も極
力市場にインパクトを与えないように配慮する」とのコメントを貰っております。

3. 株主様への利益還元について

当社は、安定的な利益成長並びに株主様への継続的な利益還元を経営の最重要課題と
して認識しており、従来の配当性向目標 15.0%を今期は「25.0%」へ大幅に引き上げて
おります。今後も引き続き業績に連動した積極的な利益還元を図って参ります。

又、每期連続的な増配を実施しつつ、将来的には配当性向を 05 年度同様の 50%を狙い、
いずれは「日本一の高配当企業」になることを目指しております。

以上